

平成29年12月22日実施

新潟農業・バイオ専門学校

学校関係者評価 評価報告書

(平成28年度)

新潟農業・バイオ専門学校 平成28年度 外部学校関係者評価

平成29年12月21日実施 学校関係者評価委員会

評価指標: 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

		平成28年度 自己評価	評価委員 評価
1. 教育理念・目標	1. 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4	4
	2. 学校の理念、目的のもとに特色ある職業教育が行われているか	4	4
	3. 社会経済のニーズをふまえた学校の将来構想を抱いているか	3	4
	4. 学校の理念・目的・育成人材像は・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか	3	3

◆外部評価委員からの意見

・学校の理念、目的、育成人材像は、学生、教職員に浸透していると感じる。
・開校7年目となり、地域に根差した学校になっていると感じる。

◆今後の改善施策

・設置学科全てにおいて地域連携による教育成果が年々拡充している。今後はそれを継続、継承するための仕組みを構築することが必要と考えている。
・「校訓」は教育の柱として、学生へは始業式、終業式といった節目で確認し周知している。また、それを実践するための特別授業「実践行動学」を年度始めに実施している。

◆特記事項

特になし

2. 学校運営	5. 目的等に沿った運営方針が策定されているか	3	4
	6. 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3	4
	7. 教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	4	4
	8. 人事、給与に関する規定等は整備されているか	4	4
	9. 業界や地域社会に等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3	4
	10. 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	4

◆外部評価委員からの意見

・今後の農業経営は、売れる作物を把握し、計画を立てて栽培することが肝要。
模擬会社の活動を通じて得た、アイデアを社会で活かせるように指導いただきたい。

◆今後の改善施策

・栽培から販売まで緊張感を持った農業経営を実践形式で学べるようにしたい。
新規取引先も見込めているので、今後は同科の学びの柱となるよう、内容の充実を図りたい。

◆特記事項

特になし

3. 教育活動	11.	教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方策などが策定されているか	4	4
	12.	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	4
	13.	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3	4
	14.	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が実施されているか	4	4
	15.	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	4
	16.	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3
	17.	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3
	18.	人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか	3	4
	19.	関連分野における業界等との連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	4	4
	20.	関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力の育成など資質向上のための取組が行われているか	3	4
	21.	職員の能力開発のための研修などが行われているか	3	4

◆外部評価委員からの意見

・食・農・緑に関わる職業人を育てるという理念に即した活動は継続されている。
 ・資格取得も大切だが、外部に出て現場を見せる教育の機会を多くするのはいかがか。
 ・学生運営会社「食娯楽」の活動を充実させ、実践的な経営が学べるようにしてほしい。

◆今後の改善施策

・業界で活躍されている方を講師として招く授業「ABioゼミ」を平成29年度より実施。
 今年度は5回実施。酒造会社社長、農業法人代表等を招聘した。
 ・「食娯楽」は企業から活動のオファーをいただいている。今後も活動を拡大させたい。

◆特記事項

評価項目 17.資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか
 内部評価委員会にて 前回 3 ⇒ 今回 4 に変更
 《理由》 各料とも検定合格、資格取得に向け、時間割を計画的に構築している。
 また、直前対策を講じたことにより合格率も向上した。

4. 学修成果	22.	就職率の向上が図られているか	4	3
	23.	資格取得率の向上が図られているか	3	3
	24.	退学率の低減が図られているか	4	4
	25.	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	4

◆外部評価委員からの意見

・資格取得対策は、基礎学力向上も必要。そのような取り組みをすべき。
 ・学力が低い学生への対応が問題点になっていたが、習熟度はどの程度か。
 留学生に行っているノートを見せる支援を日本人へも導入してはどうか。

◆今後の改善施策

・基礎学力向上、学び方を身につけるための授業「学び方の授業」を、
 平成30年度より1年前期に実施する。現在履修内容等を検討を始めている。

◆特記事項

特になし

5. 学生支援	26. 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	4
	27. 学生相談に関する体制は整備されているか	4	4
	28. 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	4
	29. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	4
	30. 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	4
	31. 学生の生活環境への支援は行われているか	4	4
	32. 保護者と適切に連携しているか	3	3
	33. 卒業生への支援体制はあるか	3	4
34. 高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	4	

◆外部評価委員からの意見

・就職活動に消極的な学生がいるとの報告があったが、どのような状況か。自己実現のためには職種の方角性を明確にすることが最優先、企業でも就職種によっては思い通りの仕事はできない。

◆今後の改善施策

・決断することや失敗することを恐れて動けていないのが原因。学生が就職実現に向け一歩踏み出すことができるメンタル面の支援を含め、指導プログラムの改善を図りたい。

◆特記事項

・保護者への対応として、年3回の保護者会の実施、年4回の教務部だよりの郵送を行っているが、保護者アンケートでは連携不足を指摘している点も多い。電子メール等による月1回程度の学校通信の配信や、学生情報提供の実施を検討したい。

6. 教育環境	35. 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3	4
	36. 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	4
	37. 防災に対する体制は整備されているか	4	4

◆外部評価委員からの意見

・教室、実習設備、実習場等、教育環境の整備は充実してきている。
・実習地も現状の教育内容であれば妥当であるとする。

◆今後の改善施策

・新潟市施設(いくとびあ食花、アグリパーク)、新潟県施設(新潟県立植物園)を積極的に活用している。
・アグリパークは農業経営科の通年実習の他、平成29年度は食品加工支援センターも利用し、加工品の生産(梅ドレッシング)も実施したい。
・県立植物園はイベントへの協力、卒業作品の展示場所として大いに活用している。

◆特記事項

・避難訓練を5月に実施。災害時の近隣住民との連携を進めている
・毎年1回近隣住民懇談会を実施することで、地域住民との情報交換の場を設けている。

7. 学生の受入れ状況	38.	高等学校等接続する機関に対する情報提供の取り組みが行われているか	4	3
	39.	学生募集活動は適正に行われているか	4	4
	40.	学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	4	4
	41.	学生納付金は妥当なものとなっているか	4	4

◆外部評価委員からの意見

特になし

◆今後の改善施策

・高校生や留学生といった入学希望者へ、適正な学生募集活動、学校の情報提供を今後も継続する。

◆特記事項

特になし

8. 財務	42.	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	4
	43.	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3
	44.	財務について会計監査が適正に行われているか	4	4

◆外部評価委員からの意見

特になし

◆今後の改善施策

特になし

◆特記事項

・学校法人として収支計画を立てているため、情報提供も法人単位としている。

9. 法令等の遵守	45.	法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	4
	46.	個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか	4	4
	47.	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	4

◆外部評価委員からの意見

特になし

◆今後の改善施策

・迅速な情報公開の実現を図る。
・教育課程編成委員会や学校関係者向けアンケートにより明確となった問題点は教職員で共有し、対策を検討する機会を設けている。

◆特記事項

特になし

10. 社会貢献・地域貢献	48.	学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	4
	49.	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	4
	50.	地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	4	4

◆外部評価委員からの意見

・地域イベントへの学生の関わり方について、新発田市「いたやま春まつり」への協力を感謝したい。園芸体験の他、山歩きでの樹木説明等ができればと考える。

◆今後の改善施策

・「いたやま春まつり」は地域貢献の体験ができる貴重な機会であるため、今後も積極的に協力したい。体験内容をより充実させるために計画段階から企画立案に関わることも検討したい。

◆特記事項

特になし